

沼津市立病院広報誌

numa

pital

ぬまピタル

vol.31
Oct.2024

見開き
インタビュー

子宮頸がんとワクチンについて



白衣を着用し、院内見学ツアーにて手術室前の様子を見ながら
自分の未来を思う「こころざし育成セミナー」参加者の皆さん

子宮頸がんとワクチンについて

第1産婦人科医長 兼 臨床検査科部長 内藤 成美 医師

今回は、内藤医師に「子宮頸がん」について伺いました。

Q. まず、子宮がんについて教えてください。

A. 子宮には子宮頸部と子宮体部があります。それぞれにがんができて、子宮頸がんと子宮体がんになります。

子宮頸がんは、20歳代後半から多くなり、30歳代後半～40歳代で最も多く発症します。主な発生源として、「HPV (Human Papilloma-virus ※ヒトパピローマウイルス)」の感染が関係していることがわかっています。

一方、子宮体がんは、40歳代から多くなり、50～60歳代で最も多くなります。主な発生源については、エストロゲン（女性ホルモン）の長期的な刺激が関係しているといわれています。

Q. どれくらいの方が子宮頸がんに罹っているのですか？

A. 現在、日本では1年間に約1万人が新たに子宮頸がんを診断されています。

子宮頸がんになると、手術や治療により、妊孕性^{にんようせい}の喪失といった影響を受ける方もいます。

そして、1日に約8人が子宮頸がんによって亡くなっています（年間約3千人）。

Q. HPVと子宮頸がんの関係性を詳しく教えてください。

A. 初めにお答えしているとおり、子宮頸がんの主な発生源は、HPVの感染であることが確認されています。

HPVに感染すること自体は珍しいことではなく、海外の報告では、異性との性的接触のある女性

Profile

内藤 成美

1999年日本大学医学部大学院卒業。日本大学医学部附属板橋病院や川口医療センターなどでの勤務を経て、2007年4月から当院勤務。

趣味：食べ歩き

沼津の好きなところ：温暖な気候



の約85%が一生に一度はHPVに感染すると推計されています。

感染した際の自覚症状はなく、多くの場合、ウイルスは自然に排出されます。しかし、感染が長く続くと、がんになることがあります。

HPVには200種類以上の「型」がありますが、子宮頸がんの原因となる代表は、16型と18型で、子宮頸がんの原因の約65%を占めています。

日本人女性の子宮頸がん患者の約91%がいずれかのHPV型に感染しており、検出されたHPV型の割合は、16・18・31・33・45・52・58型で約88%を占めています。

そのため、HPVワクチンを接種し、免疫をつけることにより感染を予防することが大切です。

子宮頸がんの中にはワクチンでは予防できないタイプのHPVが原因のがんもあるため、定期的な子宮頸がん検診も必要です。

Q. HPVワクチンの安全性についてはどうですか？

A. ワクチンの接種と無関係とは言い切れない変化を「副反応」といいます。

HPVワクチンを接種した後に、熱が出たり、接種部位が腫れたり、しこりができたりすることがあります。これは、体の中でワクチン成分に対する反応が起こることによる症状で、通常は数日程度で治まります。稀に、重いアレルギー症状や神経系の症状が起こることがあります。因果関係があるかどうか不明なものや、接種後短期間で回復した症状を含め、HPVワクチン接種後に何らかの症状が生じたと報告があったのは、接種者1万人あたり、3人～9人です。

平成25年（2013年）4月にHPVワクチンが定期接種化されたから、接種部位以外の体の広い範囲で持続する疼痛等が報告されてきました。しかし、令和3年（2021年）11月に開催された専門家会議で、安全性について特段の懸念が認められないことが確

認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められています。

Q. 読者の皆さんへ一言お願いします。

A. 子宮頸がんは、ワクチン接種によって予防できる可能性がある唯一のがんです。しかしながら、HPVワクチンの接種には、不安を感じることも多いと思います。インターネットで様々な情報が得られると思いますが、一度、実際に医師に相談してみてはいかがでしょうか。



救える命がある
守れる未来がある
防げるがんがある

1997年4月2日～2009年4月1日
生まれの女子に伝えたい！

HPVワクチンのことは知っていますか？
子宮頸がんの怖さを知っていますか？

接種期限は2025年3月31日 まで！
2024年9月 までに打ち始めて、6ヵ月の期間で3回の接種が必要で
チャンスを逃すとその後は自費で約10万円の費用がかかります！

沼津医師会はHPVワクチンの接種を強くお勧めしています。

※画像は沼津市ホームページ＞ HPV ワクチン（キャッチアップ接種）より
※接種について

2024年11月中旬までに打ち始めれば、必要回数を公費負担期間内に接種することができる場合もあります。
詳しくは、実施医療機関にお問い合わせ・ご相談ください。

PICK
UP

最新の血管造影検査装置で安全な検査

令和5年4月に最新の血管造影検査装置を導入しました。血管を詳しく検査するため、カテーテルという細い管を血管



に挿入し、造影剤という薬を用いて連続的にX線撮影するもので、急性心筋梗塞や狭心症の治療など、主に循環器疾患治療で行う血管造影検査で使用します。令和5年度には、バルーン（風船状に膨らむ管）やステント（金属の筒状の網）で心臓の冠動脈の狭くなった血管を拡張して行う心臓カテーテル検査 463 件をこの装置で行いました。

【装置の特徴】

- ・最新の画像診断装置のため、鮮明な画像が取得できます。
- ・今まで見えにくかったステントも、よりクリアに見えます。
- ・従来装置と比較し、被ばく量が大幅に低減されています。

⇒ より正確で安全な検査に！

PICK
UP

適切な靴で、安心安全な生活を送りましょう

ご高齢の方や骨がもろくなっている方が転倒し、股関節や手首などを骨折してしまうケースが多くみられます。転倒予防のための適切な靴の選び方・正しい履き方のポイントをご紹介します。

ポイント1

自分が履いてみて軽いと感じる
（重いと感ぜない）



ポイント2

つま先に
5～10mm程度余裕がある



ポイント3

つま先が反りあがった形状である



ポイント4

靴底が柔らかすぎず
足指付け根で曲がる



ポイント5

かかとがしっかりとサポートされている



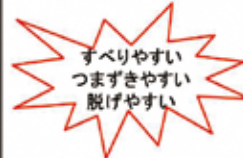
当院ホームページに、車いすや歩行器、杖の使用時における転倒転落予防ポイントを掲載しています。ぜひご覧ください。



転倒しやすい
履物・履き方



かかとを踏んで履く



沼津市立病院

NUMAZU CITY HOSPITAL

— 市民のために 共に歩む病院 —

沼津市立病院広報誌「ぬまピタル vol.31」
発行：広報委員会・病院管理課企画係
ぬまピタルバックナンバー →
当院 YouTube チャンネル →

〒410-0302 沼津市東椎路字春ノ木 550 番地

Tel：055-924-5100（内線 2370）

Mail：byoin-so@city.numazu.lg.jp

ぬまピタルに関するご意見・ご感想をぜひお寄せください。

